



<p>○</p> <p>1 尚 × 目真の尚ん雑尚公          ジ幸 を剣漫幸で誌幸園          の、通に画、股を、(</p> <p>×</p> <p>作者か、          のら ×          一端          言ま          まで          目を          通し、          最後          足の          げペ</p>	<p>○</p> <p>1 右尚コ          ヒ手幸ン          1に、ビ          をはコニ          持をン・          つ週ビ前          て間ニ(深          い漫か夜          る画ら出          。雑誌て          来る。          左手          には          缶コ</p>	<p>○</p> <p>尚雄い、          幸三致頂          、、しき、          静何も          かもすし          に言、          出わ          てな          行い          く。          。          来認め          週して          よ、い          るる          しく          お願</p>	<p>○</p> <p>尚原て尚 1 大端机きた尚同          幸稿い幸、          なる、          手雄うのには          三つべは、          伏せドブ類          の方でのレ          少寝上ツか          し転んはが          手見にてで、          取、い坂か          るる机る上          。。に。雄          置か(るお          くれ5。り、          大</p>	<p>○</p> <p>を尚中る前尚          入幸か。ま幸          る、ら耳で、          。軽はを歩迷          く、ドいう          ド何アて事          アもに行なく          を音押し、          4はし、一          回し当ド番          ノなてア奥          ツいるのの          ク。前で造          して、ちド          、中へ止まの</p>
---	---	---	--	---



